



病サル、憂いサル。
平成二十八年丙申。十二年に一度の初申祈禱会が開催されます。

くるから案外言葉の響きながらもしだす。平安の世より続く風習に、根拠だの科学だのを持ち出す方が無理といふことか。

民俗学的な視点で言えば、厄年とは役年、なのだとさうだ。日本ではある一定の年齢になると、町や村などの地域共同体において何らかの役割を務めることが求められた。その責務を果たしはじめて一人前と認められたのである。それは多くが祭祀に関わることだから、立派にやり遂げるためには身を担う年、これも一説である。

「生老病死」に気付いたのです。そして
に絶対に避けられない四つの苦しみ
ある日、外の世界に興味を持ち父
親に頼んで家の外に出たシッダールタ
は大きな衝撃を受けます。家の中にい
ては見ることのない老人や病人、亡く
なった人。生まれ、老いて病にかかり
そして死ぬ……この世に生まれたが故
に絶対に避けられない四つの苦しみ

<七日経・年忌法要と十三仏>

1	初七日	不動明王
2	二七日	觀音菩薩
3	三七日	文殊菩薩
4	四七日	普賢菩薩
5	五七日	地藏菩薩
6	六七日	彌勒菩薩
7	七七日	藥師如來
8	百ヶ日	觀音菩薩
9	一周忌	勢至菩薩
10	三回忌	阿彌陀如來
11	七回忌	阿閻如來
12	十三回忌	大日如來
13	三十三回忌	虛空藏菩薩

◆◆◆ 四つの苦しみ ◆◆◆

お釈迦さまは元の名を「ゴータマ・シッダールタ」といい、私たちと同じ人間でした。王族として生まれたシッダールタは、とても大事に育てられ家の外に出たことがありません。

◆◆◆ 大切なもの『御縁』 ◆◆◆

縁起、とはとても簡単に言えば「くによつて起きる」という意味です。原因と結果、物事がお互いに

関係あつてゐるといえるのですよ……という教え。

想像してください。「黒板」と「黒板消し」と

「チョーク」があります。この一つ二つがなぜ黒板で

黒板消しでチョークなのか。もしこの世にチョーク

と黒板消しがなければ黒板はただの緑色をした

板です。チョークも黒板消しもしかり。人も同じで

年が明けてもう一ヶ月が過ぎようとしていますね。年々時間が過ぎるのが早く感じるようになつてきています。気がつけば「もう除夜の鐘！」ということにならないように日々一步一歩大切に進んでいきたいと思います。

さて先月から「十三仏」についてお話ししています。今回は二七日、興正寺の中で一番大きな仏さま：そう仏教界のバイオニアと『釈迦如來』の番です。故人の旅立ちに際し、仏教の祖として真の教えを説いてくださる、大いなる仏さまです。



△出山釈迦尊図
(苦行を終えたばかりの釈迦の姿)

ツウの細道

釈迦牟尼大仏は現在五重塔前に鎮座されています。大仏さまと五重塔、という景色は今だけです。皆さんのに焼き付けていてください。そして新しく参拝された人たちに「昔はここにあの大仏が……」と教えてあげればツウ間違いなしです。



△平成大仏(釈迦牟尼大仏)

高野 正清
たかの しょうせい

◆◆悟りへの道 成道◆◆
出家をしたシッダールタは最初の六年間苦行をします。想像を絶する苦行の後、シッダールタはこんなことをしていても心身を削るだけで根本的に苦を解決できないと気付き、独自のやり方で悟りへの道を探ります。

シッダールタは菩提樹の下で座り「これで悟りを得られなければ私は生きてここを立たない」と決意し瞑想を始めます。煩惱の化身マーラの誘惑に打ち勝ち、明けの明星の光の中、悟りを得たといわれます。これを「降魔成道」といい、お釈迦さまが悟りを開かれたことを賛嘆する法会を「成道会」といいます。その後も二十八日間もの間瞑想を続け、さらに多くのことを悟ります。その中につに『縁起』の教えがあります。

合掌



節分

豆をまいて

「厄」は寺で落としましょう

せつ ぶん やく よけ き とう え
節分 「厄除」祈禱会



1月30日土・2月3日水

10時～11時30分／13時～14時30分／18時～18時30分

◆ 所要時間：各回15～20分程度 ◆ 入替制(時間内に25名ずつ) ◆ 受付：各回10分前より

節分「厄除」
祈禱会の流れ



御祈祷を受ける



豆をまいて
魔を滅す



厄除精進折詰
の御接待
＊お申し込みの方のみ

平成28年 九曜星あなたの星回りは?

真言密教では、独特的の密教占星術があります。
人は年齢に応じて九つの星の影響を受け、
一年一年、その星が変わってゆくとされます。
善い星もあれば悪い星もあり、悪い星回りの年には
特に気をつけて過ごさねばなりません。

p.1の年齢早見表で自分の数え年を調べる。

1 ※ 年齢は数え年です。
満年齢より一歳から二歳多くなります。



2 1で調べた「数え年」を右の表で探し、
あなたの平成28年の九曜星を見てみましょう。

一般的に言われる「厄除祈祷」は、この考えにより勤められているものが多く、當山では2月の節分に執り行われております。

厄年とは

厄年とは一生のうちで何らかの厄難に遭遇する恐れの多い年齢をいいます。厄除けをするにあたり、一年の無事を願い御札に身代わりになっていただき、その災いを少しでも小さくすることができます。
※真言宗では男女共通の厄として考えます。

	数え年										星の名前	吉凶		
A	1	10	19	28	37	46	55	64	73	82	91	100	羅睺星	大凶
B	2	11	20	29	38	47	56	65	74	83	92	101	土曜星	半吉
C	3	12	21	30	39	48	57	66	75	84	93	102	水曜星	末吉
D	4	13	22	31	40	49	58	67	76	85	94	103	金曜星	半吉
E	5	14	23	32	41	50	59	68	77	86	95	104	日曜星	大吉
F	6	15	24	33	42	51	60	69	78	87	96	105	火曜星	大凶
G	7	16	25	34	43	52	61	70	79	88	97	106	計都星	大凶
H	8	17	26	35	44	53	62	71	80	89	98	107	月曜星	大吉
I	9	18	27	36	45	54	63	72	81	90	99	108	木曜星	大吉

- [A] 他行すれば災難あり。また損失あるいは病気、口説事あり、慎むべし。
- [B] 春夏は大いに悪く、病気長引き、秋冬は少し良し。諸願望み事は控えめにすべし。
- [C] 何事も順調に運ぶ。貞心にして、大いに喜び事あり。但し海川に行くことは慎むべし。春夏ひかえめに秋冬はよろずよし。
- [D] 春冬悪く、夏秋は大いに良し。信仰の人は万事成功しやすし。争いごと凶。親、婚姻、良友を求めるによし。
- [E] 思い事心のままなり。順風に帆を上げて行くがごとし。何事もすべて大いに吉。されどおごれば凶。
- [F] 大いに悪く、旅行すれば病気災難あり。また、火難、盗難に用心すべし。万事慎みて年のかわるのを待つべし。
- [G] 何事も悪し。商売は損失または住居に心配事あり。万事慎むべし。秋冬は少し良し。
- [H] 大いに吉。秋夏は他より幸福を受けることあり。信仰の人は何事もすべて良し。盲進を慎むべし。
- [I] 春に遇いて木の芽を出すがごとく何事をはじめてもよし。但し油断すべからず。正直にして礼を守るときは災い消失し、幸福となるべし。

1年間 家でお祀りし 災いを引き受ける御札

星祭「開運」祈禱札 星祭

2月5日金から3月5日土 9時～17時 の受け取り

興正寺のお正月風景

あたたかな好天にめぐまれた平成二十八年のお正月。多くの方々にご参拝いただきました。今年も皆さまの笑顔と共に、新たな年をつとめてまいりたいと思います。

八事山歳時記



大晦日、厄除階段にて毎年恒例のベートーベン「第九」の合唱が行われました



除夜の鐘。鐘の音と共に、一年の最後に心の波立ちや迷いを一つ一つ打ち払い、清らかな心で新年を迎えます



除夜の鐘と時を同じくし、観音堂では護摩祈祷が修されました



新年のお参りに訪れた皆さまを真っ赤な「申のぼり」がお出迎え



新たな年を迎える最初に仏さまとご縁を結ぶ初詣。西山本堂前には長い行列も



護摩の炎に願う。皆さまの諸願成就を願い、新年初祈禱会が厳修されました



今年の大書院には、いろは写経・ミニ書き始めも。大人も子どもも、挑戦!



大書院ではカルタや双六などの懐かしい遊びを楽しみました。巨大オセロ・将棋盤も登場!



「図画工作むらた」さまによるワークショップ。みんな上手です



大日堂では凧揚げ・竹馬。子どもも大人も真剣です



三が日はまるで春のような陽気に恵まれ、境内は終日にぎわいを見せました



竹翠亭では金粉入りのお抹茶と正月菓子で、あたたかなおもてなし



初申祈禱会

一月三日(日)

平成二十八年
最初の「申の日」



に、西山本堂にて
初申祈禱会が行
われました。参加
者は西山本堂での
祈禱の後、加持さ
れた申のぼりを自
らの手で大日如来
に奉納しました。

修正会

一月一日(金)

元旦に、僧侶が
西山本堂から境
内をめぐり参拝
する修正会が行
われました。年の
初めにふさわしい
凛とした空気の
中、諸仏へ新たな
年への加護を祈念
いたしました。



奉納しました。

大般若経

はつ雪茶会

企業新年初祈祷会

一月五日(火)

大隨求明王の初縁日に当たる五日(火)、本堂にて大般若經転読祈祷会が厳修され、新春の吉祥を祈願しました。



去る平成二十七年十二月二十一日、竹翠亭ではつ雪茶会が行われました。灯りをおとし落着いた雰囲気の中、参加者は思い思いにお点前を楽しめました。また、当日はカンチン茶屋にて金沢の水引作家「自遊花人」さまの作品展示も行われました。



「太田上田」(中京テレビ)のロケがありました

テレビで放送されました



太田光さん(爆笑問題)と上田晋也さん(くりいむしちゅー)の二人によるバラエティ番組「太田上田」の収録が東山本堂にて行われました。尾張徳川家の歴史にも触ながらも、BOYS AND MEN(ボイメン)が途中参加するなど楽しい雰囲気の中終了しました。



興正寺では、商売繁昌・身体健全・交通安全など、企業・法人さまの願意を祈禱させていただきます。

詳細はp.11をご覧ください。



新たな一年の商売繁昌・社運繁栄を祈願する企業新年初祈祷会が西山本堂にて執り行われました。



△今年のお正月に作られた凧は約180。



△あげるだけではなく、作る楽しさも魅力。



● 杉浦康文さん

愛知県豊川市在住。
興正寺お正月「なつかし遊び」の立役者として毎年新年は興正寺で迎える。趣味はゴルフ。

△今年のお正月に作られた凧は約180。
△あげるだけではなく、作る楽しさも魅力。
△今年のお正月に作られた凧は約180。

大日堂での凧あげの風景が、中日新聞朝刊市民版(平成二十八年一月五日付)に掲載されました。

◎ 新聞に掲載されました



ぱらっぱらぱらぱら ぱら ぱら
軽快な擬音が印象的なこの歌。この音を聞いて、1番は鬼がにげてゆきますが、2番では福の神がお招きされます。掲載された「えほん唱歌」(絵本唱歌)は、昭和6年から8年にかけて音楽教育書出版協会から出版された児童・幼児向け唱歌集。季節にあわせて選ばれた、春・夏・秋・冬の4冊が出版されました。

「まめまき」唱歌

おにはそと ふくはうち
ぱらつ ぱらつ ぱらつ ぱらつ
まめのおと
おには こつそり にげていく



お寺を、子どもたちが笑顔であそべる場所に

興正寺お正月「なつかし遊び」仕掛け人

杉浦 康文さん

人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫

如月
のこと

旧暦 月

立春 二月四日

雨水 一月十九日

寒さで衣を重ねる「着更着」、気候が陽気になる「氣更来」
が届き始める頃。まだまだ寒いが、あちらこちらで春の兆しが見え始める。

旧暦の「年のはじまり」梅の花の便り
降る雪が雨へと変わり、雪解けが始ま
る頃。解け出した雪が田畠をしつとり
と潤し、農耕を始める目安ともなる。

親子で読みたい
**ことのは
あそび**

「身体・言葉・心」、この三つを同時に高めていくことが大切だという
お大師さまの教えの一つです。
このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月紹介していきます。

「身口意」。



昨日
今日
あした：

サンシユの実

年が明けて、ばたばたとしているうちにやてくる2月。私たち日本人にとって、一年の始まりは春夏秋冬と巡る季節の始め、つまり春の訪れです。季節の分かれ目には、まるで大晦日までに行う大掃除のようですが、心の大掃除を済ませてきれいに

なつて、新たな季節をなつて、新たなお茶室・竹翠亭スタッフが主催する、子どもたちと昔ながらの中行事や四季折々遊びを楽しむ会を開催いたします。冬と巡る季節の始まりは春、夏秋の節分に厄を落とす。季節の分かれ目には、まるで大晦日までに行う大掃除のよ

うです。心の大掃除は、例年よりちょっとだけも実ることがあります。以前も書きましたが、水仙の花は金銀台というきれいな別名があります。

もう一枚は珍しいサンシユの実。花は咲くが目に染みます。しかし木ですが、昨年な

い実になりました。この季節、長い努力が実った

里山の水仙

仏事の

ひふみ



毎月21日 2月の
興正寺マルシェ

遊翠の心
「きもの装い」
無料体验教室

●耕雲亭 ●十時～十四時
各回二十分钟左右
マルシェだけの特別企画！洋服の
上から帯結びをしてみましょう。

マルシェへの出店は
サロン・ド・マルシェHP
<http://www.marche-nagoya.com/>より
お問い合わせください

子ども寺子屋くらぶへのお誘い

興正寺のお茶室・竹翠亭スタッフが主催する、子どもたちと昔ながらの中行事や四季折々遊びを楽しむ会を開催いたします。冬と巡る季節の始まりは春、夏秋の節分に厄を落とす。季節の分かれ目には、まるで大晦日までに行う大掃除のよ

うです。心の大掃除は、例年よりちょっとだけも実ることがあります。以前も書きましたが、水仙の花は金銀台とい

ういう意味で、

佛さまにお守りいた

と、行事案内をおく

（会費無料）

登録していただく

と、行事案内をおく

届けいたします。

佛さまにお守りいた

</



△鬼の寒念仏

大津絵は、寛永年間（六二四一～六四四）に誕生したとされており、初めは信仰のかたちである仏画でしたが、やがて世俗画へと転じていき、十八世紀に入ると教訓や風刺を詠んだ道歌とともに描かれるようになりました。

鬼が僧衣をまとう姿で描かれているのは、慈悲

一月の行事・節分では、鬼は豆を撒いて皆に追われますが、この鬼は少々違うようです。まずはその姿。僧衣を着て鉢を首からぶら下げ、左手に奉加帳、右手に鉢を打つ槌を持っています。そして頭に生えた大きな角は、なぜか片方が折れています。

これは、江戸時代初期から滋賀県大津市で描かれていた民俗絵画「大津絵」の主要画題のひとつ、「鬼の寒念仏」です。

大津絵は、寛永年間（六二四一～六四四）に誕生したとされており、初めは信仰のかたちである仏画でしたが、やがて世俗画へと転じていき、十八世紀に入ると教訓や風刺を詠んだ道歌とともに描かれるようになりました。

鬼が僧衣をまとう姿で描かれているのは、慈悲

慈悲なき 姿ばかりは 黒染の
心は鬼に 現れにけり
慈悲も無く 情けもなくて 念仏を
となふる人の 姿とやせん

次に紹介する二つの道歌は、この画題によく添えられるものです。

ある行いとは裏腹な偽善者を風刺しているためです。鬼は人の心の内にあり、その角は仏教において克服すべきものとされる根本的な三つの煩惱（貪・瞋・癡）を表しており、それを折ることで鬼からの救いを教えてています。

寺宝公開⑯ 鬼の寒念仏

通心



*普門園拝観 五百円（呈茶付）
（川村）

f 竹翠亭Facebook

興正寺茶室・竹翠亭の行催事、季節の風景など最新の情報はこちらから!
<https://www.facebook.com/chikusuitei/>



△竹翠亭の紅葉便り

△日本のくらし・風鈴の音

△草月のぼりの席

△桃の節句 特別席

竹翠だより

お茶が教えてくれた
しあわせ

本年の節分厄除祈祷会（一月三日）では、竹翠亭で「福豆茶」をいたします。

まず、興正寺でご祈祷した福豆を、焙じ茶を包んだ袋と共に金で煮出します。そして寺内の竹で作った青竹の杓で、釜の中の福豆を順番にご自分のお茶碗に掬っていただきます。お福さんの顔が描かれているお茶碗の中に豆が入っていたら「大当たりです」と言つて喜び合います。

たっぷりの焙じ茶で体を温めることと、茶に豆が入っているかどうかを楽しみ笑い合うことで「鬼」を吹き飛ばす意味があります。

年もたくさんのが福をいただけますように、縁起の良い「福豆茶」を楽しみ、無病息災を願いましょう。

暦にそつた季節の行事を暮らしに取り入れることは、明日への活力となるでしょう。

立春を一年のはじめとしますと、節分は大晦日になります。旧年の厄や災難を祓い清め、悪鬼を追い出すために豆まきをしますが、豆は「魔滅」に通じ、無病息災を祈る意味があります。また、豆を「炒る」は「射る」にも通じ、人が食べることで鬼退治の意味もあるようです。

「福豆茶」



平成二十八年

八事山 興正寺

月会

開山忌記念茶会

三月十四日 月

濃茶席 表千家 長谷川如隱
薄茶席 裏千家 伊藤宗觀

二席 二、五〇〇円

五月十二日 木

宗徧流 名古屋支部

七月十二日 火

松尾流 村瀬玄之

九月十二日 月

表千家 谷口宗久

十一月十二日 土

松尾流 大島宗秀

どなたでもご参加できる
お茶会です。
常時茶券(通年使用可)を
取り扱っております。

※お気軽に竹翠亭までお問い合わせください。

いざれも薄茶席 二席 一、五〇〇円



八事山 興正寺

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78 (茶室 竹翠亭)
TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383

2月の興正寺講座



※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

仏讃歌

御詠歌上級 講師 鈴村隆弘

2月8日・15日 13時30分より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

光明殿

御詠歌初級 講師 鈴村智弘

2月7日・12日・21日 14時より

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。21日は本堂出仕。

光明殿

体験する

阿息観(密教禪) 講師 杉浦宣秀

2月10日・20日 14時より

普照殿／奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観(密教禪) 講師 杉浦宣弘

2月27日 13時より

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿字観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏 講師 樹田英伸

2月21日 11時30分より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

虚空蔵菩薩 合格祈願

興正寺能満堂の御本尊・虚空蔵菩薩は智慧や知識を授ける仏さま。古くから「智慧守り」として篤く信仰されてきた虚空蔵菩薩へ、進学・就職・各種資格への合格を、祈願いたします。

2月14日(日)
28日(日)

14時より
能満堂にて



祈祷料 五千円(御守・鉢巻付)

学ぶ

仏教入門講座 講師 森田泰澄

2月 25日 14時より

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。
脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座 講師 樹田英伸

2月 18日 10時より

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。

写 経

2月9日 講師 西山海良

阿息観

2月23日 講師 西山海良

<いずれも要予約>

午前の部10時

午後の部14時

支具料1,000円

(きもの装いのみ2,000円)

きもの装い

2月10日 講師 小泉美代子

茶の古典を読む会

2月4日 講師 樹田英伸

支具料1,000円

心のままに 水墨画

2月26日 講師 山田静舟氏

支具料2,000円

※初回のみ道具の購入があります。詳細はお問い合わせください。

団体祈祷のご案内

八事山興正寺では団体祈祷および団体車両祈祷を承っております。商売繁昌・身体健全・交通安全など企業・法人さまの願意を祈祷させていただきます。

○日時 / 要相談

○人数・台数 / 隨意

○出張 / 可能

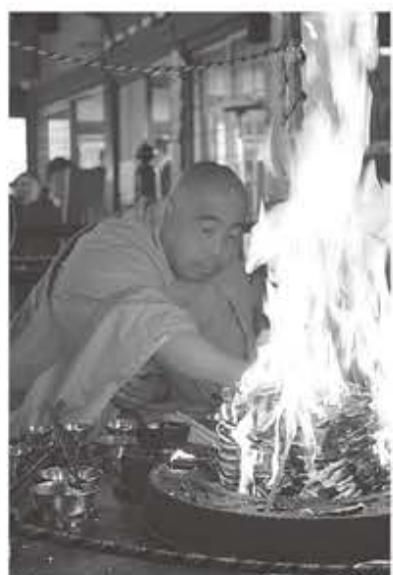
○祈祷料

僧侶3名以上 金 3万円

僧侶5名以上 金 5万円

僧侶7名以上 金10万円

※いずれも御札
(車両祈祷は交通安全御守)付



お問い合わせ 052-832-2801 担当 満園

興正寺行事カレンダー

2月

普門園拝観時間 10:00~16:00

休園日 6日(土)・14日(日)・20日(土)・27日(土)・28日(日)

月	火	水	木	金	土	日
1 仏滅	2 大安	3 赤口 ○當年星供養法会 ○節分厄除祈祷会 10:00/13:00/ 18:00 本堂	4 先勝 立春 ▽遊翠の心 茶の古典を読む会 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円 桝田英伸	5 友引 ○大隨求明王 縁日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り	6 先負	7 仏滅 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 ☆ブライダルフェア 11:00 人前模擬挙式 15:00 仏前模擬挙式 大書院 要予約
8 先勝 ○大日如来縁日 12:30 大日堂 理趣分経祈祷 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	9 友引 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円 西山 海良 ★八琴庵定休日	10 先負 戌の日 ○安産合同祈祷会 14:00 本堂 ▽遊翠の心 きもの装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	11 仏滅 建国記念の日	12 大安 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	13 赤口 ○虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 諸堂干支参り	14 先勝 ○合格祈願会 14:00 能満堂
15 友引 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	16 先負 ▽遊翠の心 茶の湯 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円	17 仏滅	18 大安 ○觀世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈祷／法話 ▽仏典読み解き講座 10:00 普照殿 桝田 英伸	19 赤口 雨水 ○阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	20 先勝 ▽阿息観 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	21 友引 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経／法話 ○月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:30 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村 智弘
22 先負 戌の日 ○安産合同祈祷会 14:00 本堂	23 仏滅 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円 西山 海良	24 大安 ○地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり 紙芝居	25 赤口 ▽佛教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄	26 先勝 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 友引 ▽阿字観 13:00 奥之院 杉浦 宣弘	28 先負 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈祷／法話 ○合格祈願会 14:00 能満堂
29 仏滅	1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引	5 先負	6 仏滅



八事山 興正寺

能満堂

智慧の御仏 虚空蔵菩薩さまと
御縁を結ぶ

特別開扉

3月5日[土]・13日[日]

10時～13時 ※入堂無料／開扉は法会時間中のみ

お問い合わせ先 TEL 052 (832) 2801